２０２０年 7月３０日

報道機関 各位

株式会社　秋田銀行

２０２１年３月期 第１四半期 決算のお知らせ

【単体】	経常利益	１１億３２百万円	（前年同期比　　△７１百万円）
	四半期純利益	１１億１０百万円	（　〃　　＋２億４２百万円）
【連結】	経常利益	８億６８百万円	（　〃　　△１億２５百万円）
	親会社株主に帰属する四半期純利益	８億２２百万円	（　〃　　＋２億　５百万円）

株式会社 秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、７月３０日（木）、２０２１年３月期（２０２０年度）第１四半期の決算を発表いたしました。

１　損益（単体）

経常収益は、国債等債券売却益の増加により前年同期比 18 億 43 百万円増収の 107 億 50 百万円となりました。

本業での利益を示す**コア業務純益**は、経費は減少したものの、資金利益や役務取引等利益が減少したことにより 3 億 75 百万円減益の 11 億 66 百万円となりました。（増加率△24.3％）

経常利益は、国債等債券損益や株式関係損益は好転したものの、コア業務純益の減少に加えて与信関係費用が増加したことにより 71 百万円減益の 11 億 32 百万円となりました。（増加率△5.9％）

一方、**四半期純利益**は、法人税等合計が減少したことにより 2 億 42 百万円増益の 11 億 10 百万円となりました。（増加率 27.8％）

２　損益（連結）

経常収益は、前年同期比 18 億 93 百万円増収の 117 億 66 百万円となりました。

経常利益は、1 億 25 百万円減益の 8 億 68 百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は 2 億 5 百万円増益の 8 億 22 百万円となりました。

連結損益の増減は、主に銀行単体の増減要因によるものです。

３　預金および貸出金（単体）

預金（譲渡性預金を含む。）の期末残高は、個人、法人および公金預金の増加により前年同月末比 1,418 億円増加し 2 兆 9,036 億円となりました。（増加率は 5.1％、過去最高残高となりました。）

貸出金は、事業先向け貸出は増加したものの、地公体向け貸出の減少により前年同月末比 104 億円減少し 1 兆 6,482 億円となりました。（増加率は△0.6％）

詳細につきましては決算短信をご参照ください。

【本件に関するご照会】経営企画部 主計チーム 大沢（内線 2602）℡ 018-863-1212